

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	狂犬病予防事業						担当部	市民生活部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	環境対策課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	環境保全係		
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境		4 環境		4 良好な地域環境の保全活動を推進します				
		副目的									
	予算区分	款	4	項	1	目	3	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	狂犬病予防法・狂犬病予防法施行令・小牧市狂犬病予防施行細則									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	狂犬病の発生を予防し、そのまん延の防止を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 あらかじめ委託契約する動物病院に狂犬病予防注射済票と登録鑑札を預託しておいて、動物病院から犬の飼い主に交付し交付手数料を徴収してもらう。(15病院と契約)各地区に出向き、狂犬病予防の集合注射を行なう。(延べ34会場にて実施)契約以外の動物病院で注射をした場合は窓口で狂犬病予防注射済票を交付する。新規登録についても窓口で鑑札を交付する。 ※狂犬病予防注射済票交付手数料…550円 登録鑑札交付手数料…3,000円</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 交付手数料徴収事務委託(1,817千円) 消耗品・印刷製本費等(415千円) 会場借上料・電子計算機借上料(246千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 交付手数料徴収事務委託(2,150千円) 消耗品・印刷製本費等(546千円) 会場借上料・電子計算機借上料(264千円)</p>									
	受益者負担	有 狂犬病予防業務手数料(6,324千円)									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,515	2,516	2,478	2,960	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,630	2,630	2,630	2,630
		その他職員	従事者数	人	0.75	0.75	0.75	0.50
			人件費	千円	1,536	1,536	1,536	1,536
	費用合計	千円	6,681	6,682	6,644	7,126		
	対前年比	%		100.0	99.4	107.2		
財源	一般財源	千円	78	193	320	425		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	6,603	6,489	6,324	6,701		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	狂犬病予防注射の接種頭数	頭	目標	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績	7,999	7,814	7,726	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
狂犬病予防注射の接種率	%	目標	97	97	97	97	
		実績	78	76	75		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		事業の達成状況	
	事業実施における課題		狂犬病予防注射の接種率が徐々に低下している。集合注射の実施に多くの人員を要する。	
	事業を縮小・廃止したときの影響		狂犬病予防法の規定にあるため廃止することはできない。また、廃止した場合、狂犬病がまん延する恐れがある。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	25年度に開催して好評だった犬の飼い方の出前講座の開催回数を増やし、その折に狂犬病予防注射の必要性も啓発する。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	狂犬病の危険性と狂犬病予防注射接種率が低下している現状から判断して、この事業を縮小することは適切でない。しかし、接種率向上の取組と集合注射の実施方法については改善する必要がある。		
	27年度以降の改善案	狂犬病予防注射接種率の改善については、新たな啓発活動を検討する。また、集合注射については、実施会場の再編を検討する。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。